

地域の療養情報 第1版における配布・普及事業について

○沖縄県の取り組み

H23. 1. 24

国立がん研究センターから患者必携配布・普及啓発事業への協力依頼あり。

H23. 2. 14

国立がん研究センターから患者必携「見本版」2冊着

H23. 3. 9

沖縄県、沖縄県がん診療連携協議会、琉大病院がんセンター共催で開催した「沖縄のがん対策、日本のがん政策」講演会における、「患者必携」関連の演者として講師を招聘

講師：厚生労働省がん対策推進協議会会長代理 天野氏

演題：「がん患者必携を読んでもみよう～患者・家族の立場で使いこなす」

H23. 3. 30

おきなわがんサポートハンドブック完成

H23. 4 上旬

国立がん研究センターからポスター1部、チラシ1,000部程度着

県庁にてポスター掲示及びチラシ設置

入手方法及び「おきなわがんサポートハンドブック」電子データを県医務課HPに掲載

H23. 4. 12

県から「がんになったら手に取るガイド」、「わたしの療養手帳」「おきなわがんサポートハンドブック」の周知依頼及び入手方法等について通知（医療機関については周知及び配付依頼）。

通知先

- 市町村 41 (地域包括支援センター含む)
- 専門的がん診療機関 24 施設
- 標準的がん診療機関 83 施設
- その他診療所、クリニック 390 施設
- ファミリーサポートセンター14
- 保健所 5、薬局 145、年金事務所 6、介護老人施設 44
- 県医師会(地区医師会)8
- 歯科医師会 1 看護協会 1

H23. 6. 2

沖縄がんサポートハンドブック記者会見

県庁 5 階 記者会見室

出席者：琉大病院長・がんセンター長・医務課職員

H23. 8. 12

がん条例策定に係る連絡会作業部会において、沖縄県がん患者連合会：吉田副会長から医療機関の医師等への周知が足りないとの指摘があり、配付済み医療機関に再度、周知依頼文書を発送

※初回配付時から現在までの追加配付 890 部

(内訳)

医療機関 7 施設 560 部

生命保険会社 300 部 ※がん関連保険説明会等で配付すること

市町村 2、図書館等 30 部

○地域の療養情報 改訂版における配布・普及事業について

現段階で具体的な内容は決まっていない。